

「障がいのある人（子ども）のサポートプラン（案）（加賀市手話施策推進方針（案）を含む）」に係る市民意見公募の結果について

「障がいのある人（子ども）のサポートプラン（案）（加賀市手話施策推進方針（案）を含む）」について、下記のとおり意見募集（パブリックコメント）を行ったところ、2件のご意見が寄せられましたので、お知らせします。

【意見募集の概要】

案件名	障がいのある人（子ども）のサポートプラン（案）（加賀市手話施策推進方針（案）を含む）
募集期間	令和3年3月5日（金）から令和3年3月18日（木）まで
資料閲覧場所	加賀市役所ホームページ、ふれあい福祉課、加賀市役所総合案内、山中温泉支所、山代・片山津・動橋の各出張所、中央図書館、山中図書館、各地区会館
意見提出方法	郵送、FAX、電子メール
意見の件数	2件

【意見と市の考え方】

番号	意見	市の考え方
1	加賀市が平成 30 年度から進めているスマートインクルージョンの（発想を著した）本でのインクルーシブ教育の説明は、障がいのある子供を含む、すべての子供に対し個々の教育的ニーズにあった適切な教育的支援を“通常学級において”行う教育となっています。 共に学ぶということばが 26 ページの「児童生徒の交流」ということばで分けて育てる教育にならないことを願います。 就学に関しては「本人、保護者の希望を最大限尊重した就学支援の充実」をお願いします。	当市では、就学の際は、障がいのある子どもや保護者と相談のうえ、ご意向に沿う学校・学級を選択していただいております。選択の結果やニーズは、それぞれ違いはありますが、分けて教育を行うという考えはございません。 今後も、就学に関しては本人、保護者の希望を最大限尊重した支援を行っていきたいと考えております。
2	94 ページの資料（アンケート調査でのご意見）で「スマートインクルージョンは、いつ運用が始まりますか。」とありました。第 5 期計画中に始まったスマートインクルージョンに期待している方はとても多いです。 第 6 期計画にスマートインクルージョンのことを全く載せていないのは、おかしいと思います。「親なき後」を皆さん心配しています。 ぜひ、スマートインクルージョンのことを載せてください。	当市では、先端技術によって障がいのある人も含めて、人々の生活の質の向上が図られる社会である「スマートシティ」を目指すこととしております。 この「スマートシティ推進事業」には、最新の技術を障がいのある人の視点で開発、活用し、障がいのある人もない人も、全ての人々が安全安心に暮らせ、社会に参画できるまちを目指す「スマートインクルージョン」も含まれてまいります。 いただいたご意見のとおり、「スマートインクルージョン」に期待されている方もいらっしゃることから、「スマートシティ推進事業」の方向性として、「スマートインクルージョンと一体的に取り組む」旨を記載いたします。